

オンライン資格確認システムについて

マイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認」の本格運用が昨年10月から全国的にスタートしました。

今後、対応する医療機関や薬局が順次増えていくことが見込まれています。

富田病院でも専用の機器を導入して、昨年12月からマイナンバーカードによる保険証確認を始めています。

オンライン資格確認の詳細は、こちらのQRコードを読み取りのうえご確認ください。



新年のご挨拶

社会福祉法人京都博愛会 富田病院 院長

上田 俊二

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健康やかな新年をお迎えになられましたことと、お慶び申し上げます。

本年は寅年であり私は年男になりました。いつもの年以上に地域医療に積極的に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

昨年はコロナ禍で大変な一年でした。本院では感染防止のため入院患者様の面会制限を行い患者様、ご家族様に対して大変ご迷惑をかけたこととお詫び申し上げます。またコロナPCR機器の購入、微力ではございますがワクチン接種を行うなど病院としていろいろな対策を講じて参りました。全国的にワクチン接種もすすみ何とか感染者数は減少しておりますが、世界を見ればワクチン接種が進んでいる国々で感染の再拡大が起きており、まだまだ安心することはできないと考えています。本年こそはコロナとの共生が可能となることを強く願っております。

これからも地域の方々の健康、介護、福祉に職員一同全力を尽くしていきますのでよろしく願います。



基本理念

【博愛】博愛の精神に基づいて、患者さまや地域の人々にやさしく、親しまれ、信頼される病院を目指します。

【協調】患者さまを中心に協調の精神でチーム医療を行います。

【健康】私たち自身の心と身体の健康に留意し、良い医療・介護・福祉を提供します。

より安全な手術のために

京都博愛会病院 眼科部長 上田 直子

加齢による視力低下の原因として、白内障、緑内障、加齢黄斑変性症があります。白内障は、目の中の水晶体が濁ってくる病気です。濁りのため生活が不自由になったときは、手術で水晶体の袋を残し、その中に人工のレンズを入れることで、また見えるようになります。

昔は、袋ごと水晶体を取り出す手術をしておりましたので、その代わりに虫眼鏡のような分厚い眼鏡の装用をする必要があり、見え方も不自然でした。眼内レンズが開発、改良され、眼内レンズの挿入が出来るようになり、自然な見え方を取り戻せるようになりました。水晶体の内容物は、超音波で硬い核を乳化吸収して取り除いていきます。この超音波乳化吸引術の器械も性能がどんどん改

良され、より安全に手術が出来るようになってきております。

今回、超音波乳化吸引術の器械をアルコン社製のセンチュリオンに買い替えました。より安全な手術をめざし、一同頑張っていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



看護物語

「自分と向き合った一年」

京都博愛会病院 看護部 島田 佳苗

私は社会人経験を経て、看護師という職業に就きました。一年が経過し、今までの場と違い一つ一つの看護が人の命に関わる重大な立場と責任がある事を日々実感しています。

就職した当初は、日々の業務、看護技術、アセスメント能力など自分への課題があり、目の前の事をこなす事に精一杯になってしまい、優先順位やタイムスケジュール管理が上手く出来ていませんでした。時間制限のある中での予測・判断に戸惑い、自分を追い込んでしまう事が更に視野を狭くし、自分だけでなく、チームの動きも見えなくなっていました。しかし師長、プリセプター、チームで私の技術や業務が自立でき、自信につながるよう、細かく一つ一つ指導して下さり、プリセプターが何度も学びや反省を一緒に行って下さることによって、少しずつですが、自分の成長につながっていると感じています。

この一年を振り返り、私の弱みはイレギュラーな事が起こると焦りと視野が更に狭くなる事です。その弱みを克服するためには、予測とその予測時のコミュニケーションを行っていくことだと考えます。

この一年で学んだ事を基盤に、視野を広く持ち、多くの視点で観察する事を大切に、患者さんを中心とした看護を日々提供できるように努力していきたいと思っています。





わが町のホームドクター

「花舞いの中で」

北区 塩谷 美佐

朝、カーテンを開けると、深い緑の山を背に、ゆるやかな傾斜のある広い庭が広がります。四季それぞれに趣きがありますが、中でも桜の頃がすばらしく、特に山桜の散る風情は圧巻です。麓から吹き上げる優しい春風に乗って、青空に向かってふんわりと舞うのです。これを花舞いと言うのでしょうか。私はこの花舞いの中に佇む穏やかなひと時を、毎年楽しみにしています。そして、これが私の選んだ終の栖み家「京都ヴィラ」からの眺めなのです。

京都ヴィラに入居してからは、健康のことは富田先生をお頼りして、月に一回必ず博愛会病院にまいります。四年ほど前、東京の姉を見舞い帰った夜のことでした。急に心臓に絞られるような痛みを感じ、目の前が真っ暗に。二、三秒で元に戻りましたが、一晩に三回も続くと怖くなります。富田先生にご相談すると、すぐに心臓の検査をして下さり、適切なご指導をいただき、その後何事もなく元気になっております。

今、私は博愛会病院の皆様、京都ヴィラの皆様の暖かい眼差しの中で、楽しく毎日を過ごしております。そして、来年も又その次も…桜の花舞いの中に佇みたいと希っております。



「在宅療養あんしん病院登録システム」とは？

あらかじめ必要な情報を登録しておくことで、在宅療養中の高齢者が体調を崩し、在宅での対応が困難になった時にスムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるシステムです。早めの対応により、病状の悪化や身体の働きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活を続けることを支援します。

次のような高齢者（65歳以上）が対象となります。

- ・在宅で療養中の方
- ・訪問診療を受けている方
- ・かかりつけ医に定期的に通院されている方



※登録についてのお問い合わせは、各病院の地域連携室までお願い致します。

京都博愛会病院（直通）TEL.781-1134 富田病院（直通）TEL.491-3242

京都博愛会病院で
院外処方箋
FAX送信システムを
導入しました

京都博愛会病院 薬剤科長 島 祥子

院外処方箋は、直接調剤薬局に持ち込むより、事前にFAX送信しておく、お薬の在庫の有無・飲み合わせのチェックなど、調剤に必要な項目をあらかじめ確認できるので、早い対応が可能になります。当院から遠くの調剤薬局の場合には、到着した時にお薬が出来上がっていることもあるでしょう。

タブレットを操作して「住所」「FAX番号」から薬局名を選択し、処方箋を撮影したら送信します。京都府薬剤師会のサーバーを通して送信されるので、調剤薬局の情報は常に最新のものになっていますし、他府県の薬局にも対応しています。

是非、ご活用してみてください。



『診療・検査医療機関』の指定にかかるご案内

京都博愛会病院及び富田病院は、京都府よりインフルエンザ流行期における発熱患者さまの診療をおこなう「**診療・検査医療機関**」の指定を受けています。発熱や呼吸器症状等がある場合は、事前に電話でご相談くださいますようお願い申し上げます。

- [illegible]

京都博愛会病院および富田病院では病院ホームページから入院患者様へ「お見舞いメール(手紙)」を送信できるサービス(無料)を実施しておりますので、どうぞ気軽にご利用ください。



各病院ホームページ下方の
バナーをクリック!!



京都博愛会病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
<https://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai/>

富田病院

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<https://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita/>

訪問看護
ステーション はくあい

TEL:075-491-2711 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
https://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai_nursing/

ディケアセンターとみた

TEL:075-491-0700 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町69
https://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita_care/